資料１

令和８年度の主な国際交流・多文化共生推進関連事業について

※ 「京都市国際都市ビジョン」における国際都市像ごとに記載

国際都市像１ 世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

【取組の方向性】

① 新たな価値創出につながる京都の魅力の深化
② 外国人研究者や技術者、起業家、留学生等にとって魅力ある環境整備
③ あらゆる機会を通じた世界の都市「KYOTO」の魅力発信

【令和８年度の主な関連事業】

➢ 京都で学ぶ留学生の受入環境支援・体験交流促進事業（6,700千円）

入学直後の留学生に行政手続きや生活ルールに係る情報提供等を行うとともに、京都市の文化施設の見学・体験等の機会を提供する。また、京都で学ぶ多様な学生が、京都ならではの文化芸術や伝統産業に少人数でじっくりと体験できる参加体験型プログラムを実施し、末永く京都ファンとして、京都への関心・愛着を持ってもらえるように取り組む。

令和８年度は、入学直後の留学生への情報提供（ガイダンス）について、実施回数の増加や実施場所の多様化、内容の充実を図るとともに、参加体験型プログラムについても回数と内容を充実させる。

➢ 「京都⇔海外」ビジネスマッチング促進プロジェクト（29,700千円）

MICE等により来日した海外企業等に対し、展示会でのブース出展等を通じて本市企業誘致に関する情報発信やネットワーク構築を図る。

また、スタートアップ・産業連携推進室と連携し、アウトバウンド・インバウンド一体となった取組に加え、MICEやユニークベニューの活用市内企業の海外展開に向けたＰＲ、海外企業とのマッチング機会の創出及び海外企業の誘致を図る。

➢ 「京都ファン」の観光客に対する京都の魅力調査（34,000千円）

京都に旅行経験のある日本人・外国人それぞれを対象としたアンケート調査及び「京都ファン」を対象とした 深層インタビュー調査を実施することで、「京都ファン」の属性毎の意識を調査する。

これらの調査結果等を踏まえ、観光客のリピーター化や、長期滞在化の促進、京都の魅力の維持・継承等を図る各種事業の磨き上げを行う。

併せて、当該調査結果を観光関連事業者と共有することで、多様で奥深い観光体験の創出・磨き上げを促進する。

国際都市像２ 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

【取組の方向性】

① 文化の力を土台とした国際交流・協力による国際社会や世界平和への貢献
② 海外都市との相互利益型の都市間交流の推進

【令和８年度の主な関連事業】

- 世界歴史都市連盟事業（8,233千円）

  令和8年11月10～12日に、姫路市において、第20回世界歴史都市会議及び2026年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催する。また、会議プログラムの一環として、姫路市、奈良市、京都市からの選択制でエクスカーションを実施する。開催都市の姫路市、エクスカーション先の1つである奈良市及び連盟事務局とで開催に向けた準備を行うとともに、京都市から京都市長をはじめとする代表団を派遣する。

  会議では、「持続可能で強靭な未来に向けた文化遺産の保存と活用」をテーマに、基調講演や会員都市による発表、市長セッション、専門家会議等を行い、総会・理事会では、連盟の運営や事業について協議等を行う。

  また、連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行う。

- イクレイ等のネットワーク組織と連携した国際発信（3,459千円）

  持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組む国際的な自治体ネットワーク組織「イクレイ−持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会」に加盟し、国内外の自治体との連携を図っている。（※京都市長がイクレイ東アジア地域理事会の議長を務めるとともに、イクレイ日本に本市職員を１名派遣）

  地球規模での温暖化対策を促進するため、イクレイのプラットフォームを活用しながら本市の取組を広く発信する。

- 京都・プラハ姉妹都市提携30周年記念事業（18,665千円）

  京都・プラハ姉妹都市提携30周年を記念して、両市の代表団の相互派遣を行うとともに、京都市内及びプラハ市内で相互の都市の文化、学術などの交流に資する事業を実施する。

- 京都・パリ友情盟約締結70周年プレイベント2026（1,950千円）

  京都・パリ友情盟約締結70周年（2028年）に向けたプレイベントを、在京都フランス総領事館、関西日仏学館と連携し、実施する。

国際都市像３　さまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

【取組の方向性】

① グローバルな視点をもって地域の発展に貢献する担い手の育成
② 幅広い年齢層が世界の多様な文化に触れる機会の創出
③ 京都市の国際展開を支える職員の育成

【令和８年度の主な関連事業】

➢ 国内外のクリエイティブ人材が京都につどい・交じり・創造する仕組みづくり（京都と世界が創造的に滞在・交流する仕組みづくり「*** in Residence Kyoto」）（73,000 千円）

一般社団法人を設立し、レジデンス施設のスタートアップ支援を継続するとともに、海外との連携により、多くのクリエイティブ人材を受け入れる。また、コーディネーターの育成講座等の実施や区 HUB との連携により、地域とつなぐ機会の充実を図る。さらに、大学生と地域、クリエイティブ人材が協働し、市営住宅等の空き物件を活用した交流拠点を創出する。

➢ 英語教育・国際交流の推進（52,935千円）

子どもたちが実践的な英語力を身につけることができるよう、小学校で日常的に英語に触れるための取組、英語学習アプリの活用、中高校生の英検受検料補助、高校での修学旅行等や海外姉妹校との相互交流、GTECの活用に取り組んでいる。また、中学校から高等学校への学びが円滑につながる英語教育の充実を図るため、今年度から「中高連携英語推進事業」を実施し、指導内容や評価の連続性を意識した取組を進めている。

さらに、「京都市立高校グローバルリーダー育成研修」を実施し、海外を舞台に多様な文化や価値観に触れる経験を通して、グローバル人材としての素地を育んでいる。

高校生等の留学機会提供を目指す国の「トビタテ！留学JAPAN」拠点形成支援事業に京都府が採択されたことを契機に、京都への愛着と誇りを持ち、グローバルな視野や探究心、課題解決能力を備えた人材育成を目的として、京の高校生『海外探Q留学』応援事業」を開始する。

➢ 国際交流会館管理運営（指定管理）（186,827 千円）

京都の国際交流・多文化共生の拠点として、国際交流団体等との連携事業や、外国籍市民等からの相談に多言語で応じる「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営などを行うことにより、市民が多様な価値観に触れる機会を創出するとともに、外国籍市民等が安心して生活できる環境づくりを進める。

また、京都・プラハ姉妹都市提携30周年に関連し、チェコ共和国の絵本及び関連書籍を展示した企画展や絵本の読み聞かせ、ワークショップなどを開催する。

➢ 庁内グローバル人材育成（5,500 千円）

「突き抜ける世界都市京都」の実現に向けては、世界との交流や企業の海外展開などグローバルな視点で京都ならではの価値創出を進める施策を進めることが重要である。

このため、職員の多文化理解・語学力・発信力等の向上に加え、現地に赴き国際的な感覚を養い、更には海外のステークホルダー等と交流・調整を行うことを通じて専門的な職員の育成を図るとともに、職員の自律的なキャリア形成の支援に繋げていく。

国際都市像４　多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

【取組の方向性】

① 多言語による情報提供・コミュニケーション支援
② 外国籍市民等が安心・安全に暮らせる体制整備
③ 外国籍市民等による地域・市民活動への参加促進
④ 外国籍市民等の地域での就労支援

【令和８年度の主な関連事業】

➢ 世界から選ばれるまちに向けた調査及び相互理解・相互尊重の促進（18,000 千円）

世界中から突き抜けた人材が集まるまちを目指し、クリエイティブ人材などの専門人材の受入れ等に関する調査・分析を行うとともに、多文化共生社会における相互理解・相互尊重の意識醸成に向けて、海外からの転入時に必要な情報の提供や、市民団体との連携等による外国籍市民との交流機会の拡大を図る。

➢ ケアラーに対する包括的な支援体制の構築（28,400 千円）

外国語にルーツのある方をケアする方も含め、多様なケアラーの相談を包括的に受け止め、必要な情報の提供や支援につないでいくため、ケアラーに関する相談窓口を設置する。また、当該窓口においては、当事者や支援者が作る居場所やピアサポートにケアラーをつなぐことや、ケアラー（元ケアラー）の活躍の場を見出すための情報提供、ケアラー支援に関する情報収集や調査・研究につなげる等の取組も実施し、ケアラー支援の一層の充実を図る。

その他、ケアラー支援に係るポスターやリーフレットの掲出、動画の放映等により、周知啓発を実施するとともに、関係団体とも連携し、市民や関係機関等を対象とした研修を実施する。

➢ 京都市外国籍市民総合相談窓口運営（8,365 千円）

在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行う。

➢ 留学生市内就職促進事業（9,000 千円）

多くの留学生が学ぶ、大学のまち・京都の強みを活かし、留学生を地域企業の担い手へとつなげるため、留学生採用の知識・理解促進に資する企業向けセミナーや企業と留学生の交流会等を実施する。

さらに、就職活動やビジネスに役立つ日本語等を学ぶ講座を実施することにより、留学生の地域企業への就職を後押しする。

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像１　世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
総合企画局	国際都市共創推進室 国際都市共創担当	京都・プラハ姉妹都市提携30周年記念事業	通年	京都・プラハ姉妹都市提携30周年を記念して、両市の代表団の相互派遣を行うとともに、京都市内及びプラハ市内で相互の都市の文化、学術などの交流に資する事業を実施する。	新規	18,665	2,3	
		京都・パリ友情盟約締結70周年プレイベント2026	通年	京都・パリ友情盟約締結70周年（2028年）に向けたプレイベントを、在京都フランス総領事館、関西日仏学館と連携し、実施する。	新規	1,950	2, 3	
		世界歴史都市連盟事業	通年	令和8年11月10～12日に、姫路市において、第20回世界歴史都市会議及び2026年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催する。また、会議プログラムの一環として、姫路市、奈良市、京都市からの選択制でエクスカーションを実施する。開催都市の姫路市、エクスカーション先の1つである奈良市及び連盟事務局とで開催に向けた準備を行うとともに、京都市から京都市長をはじめとする代表団を派遣する。 会議では、「持続可能で強靭な未来に向けた文化遺産の保存と活用」をテーマに、基調講演や会員都市による発表、市長セッション、専門家会議等を行い、総会・理事会では、連盟の運営や事業について協議等を行う。 また、連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行う。	継続	8,233	2	
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	令和8年度8月及び2～3月（予定）（毎年度2回程度）	「京都市国際都市ビジョン」（令和3年3月策定）に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。	継続	260	2,3,4	
		国際会議や海外賓客の接遇時等における京都の魅力発信	通年	世界歴史都市会議をはじめ国内外で開催される国際会議や、各国・都市、企業等の代表者が本市を訪問される機会を捉え、京都の魅力発信を積極的に行う。	継続	－		
		医療通訳派遣事業	通年	医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行う。	継続	2,700	4	
		地域・多文化交流ネットワーク促進事業	通年	東九条地域において、これまでの自主的な地域活動や多文化共生に向けた取組の実績を踏まえ、地域住民及び各種団体を主体とした地域交流・多文化交流を深める取組等を実施することにより、京都市域における多文化共生・地域福祉の推進を図る。	継続	9,900	4	
		京都市外国籍市民総合相談窓口運営	通年	在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行う。	継続	8,365	4	
		災害時多言語電話通訳事業	通年	災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整えている。（避難所等の開設期間中、24時間利用可能）	継続	460	4	
		海外からの相談対応等受入環境整備の充実事業	通年	引き続き海外からの相談対応を行い、併せてウェブページの内容充実等を行う。通訳派遣制度については、本格実施として派遣可能件数を拡充する。	継続	5,800	4	
		世界から選ばれるまちに向けた調査及び相互理解・相互尊重の促進	通年	世界中から突き抜けた人材が集まるまちを目指し、クリエイティブ人材などの専門人材の受入れ等に関する調査・分析を行うとともに、多文化共生社会における相互理解・相互尊重の意識醸成に向けて、海外からの転入時に必要な情報の提供や、市民団体との連携等による外国籍市民との交流機会の拡大を図る。	新規	18,000	3,4	
		留学生スタディ京都ネットワーク	通年	大学、日本語学校、専修学校、経済界、京都府とともに、海外から京都の大学等への留学を促進するための組織を設立し、海外や首都圏の日本語学校から留学生を獲得するためのプロモーションや、国内外からの相談・問合せへのワンストップ窓口の開設、さらに留学生の住環境整備や就業支援に関して、オール京都体制で推進していく。	継続	15,000		
		京都で学ぶ留学生の受入環境支援・体験交流促進事業	通年	入学直後の留学生に行政手続きや生活ルールに係る情報提供等を行うとともに、京都市の文化施設の見学・体験等の機会を提供する。また、京都で学ぶ多様な学生が、京都ならではの文化芸術や伝統産業に少人数でじっくりと体験できる参加体験型プログラムを実施し、末永く京都ファンとして、京都への関心・愛着を持ってもらえるように取り組む。 令和8年度は、入学直後の留学生への情報提供（ガイダンス）について、実施回数の増加や実施場所の多様化、内容の充実を図るとともに、参加体験型プログラムについても回数と内容を充実させる。	充実	6,700		
		学生のプレミアム体験・交流事業	通年	京都の大学等で学ぶ学生（留学生を含む）を対象に、普段経験できない京都の多様で奥深い魅力を学ぶ“京都ならではの体験”イベントを実施する。 この体験を通じ、学生の京都への愛着・関心をより一層深めるだけでなく、大学等の垣根を越えた学生同士のつながりも強化し、卒業後も京都に定着してもらうなど、末永く京都と縁を持って活躍してもらえる好循環を目指す。	継続	3,000		
	人口戦略室 京都創生担当	海外に向けた「京都創生」の展開	通年	令和7年度の取組を継続しつつ、情報発信等の取組を通じ、関係人口となる方々とより深く継続的な関係性を構築していく。	継続	1,882	2	

資料１－別紙１

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像1　世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の認知度向上に向けて取り組むとともに、今後の国際ネットワーク強化の在り方について検討を進める。また、令和8年度は、ユネスコ創造都市ネットワークと合同会議を開催し、都市間の情報交換を行う予定。	継続	－	2,3	
		京都国際舞台芸術祭 （KYOTO EXPERIMENT）	令和8年10月	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。	継続	28,000	2,3,4	
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	継続	162,907	2,3,4	予算額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		KYOTOGRAPHIE（京都国際写真祭）	令和8年4月18日 ～5月17日	京都を舞台とした国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE（京都国際写真祭）」を本市共催により開催（主催：一般社団法人KYOTOGRAPHIE）。京都の歴史的建築物などを会場（市内十数か所）とし、選りすぐりの国内外写真家による展覧会等を実施する。	継続	－	2	
		京都文学賞	通年	京都を題材とする小説を募集・表彰することにより、京都における文学の更なる振興とともに、「文化都市・京都」の発信や京都の歴史と魅力の再認識、都市格の向上につなげる。 一般、中高生、海外の3部門を設け、国内外から作品を募集する。	継続	6,310		
		京都・文化ファンドレイジング戦略推進事業	通年	京都の文化芸術を担うアーティスト等の活動を、個人・企業の寄付等を通じて社会全体で支え、持続可能な文化芸術の振興を図るArts Aid KYOTOの取組や、更なる支援の拡大・促進を図るため、高額所得者向けの寄付獲得の取組等を行うなど、引き続き安定的な運営を行っていく。	継続	478,800		
		京都文学レジデンシー	10～11月頃	国内外から招致した作家、詩人、翻訳者等が、京都に一定期間滞在し創作活動を行う場を提供する。講演会、朗読会等における市民との交流や、創作活動を通じて京都の魅力を発信する。 京都の複数の大学の教授等による実行委員会に本市も参画。	継続	－		
		「カルチャープレナー」の創造活動促進事業	通年	引き続き、カルチャープレナーの実践事例のリサーチや情報発信、アワードを開催する。また、カルチャープレナーと京都の企業や若者等のコミュニティを形成するとともに、育成や成長につながる支援策についての調査研究を進める。	充実	15,000		
		国内外のクリエイティブ人材が京都につどい・交じり・創造する仕組みづくり（京都と世界が創造的に滞在・交流する仕組みづくり「*** in Residence Kyoto」）	通年	一般社団法人を設立し、レジデンス施設のスタートアップ支援を継続するとともに、海外との連携により、多くのクリエイティブ人材を受け入れる。また、コーディネーターの育成講座等の実施や区HUBとの連携により、地域とつなぐ機会の充実を図る。さらに、大学生と地域、クリエイティブ人材が協働し、市営住宅等の空き物件を活用した交流拠点を創出する。	充実	73,000	3,4	
産業観光局	スタートアップ・産学連携推進室	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	通年	引き続き、オール京都及び京阪神間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信に、より一層取り組むことで、社会課題解決に取り組むスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。	継続	279,300	2	予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るものではない。
	地域企業振興室	グローバル展開支援中堅企業創出プロジェクト	通年	・京都市海外ビジネスマッチングPR支援事業 製造業を営んでいる市内中小企業者を対象とし、海外進出計画の策定から、海外展示会出展、現地企業とのマッチング、PR活動及び契約締結までの支援を実施 ・京都市DXによる生産性向上支援事業 製造業を営んでいる市内中小企業者を対象とし、海外市場の獲得・拡大を視野に入れたDX戦略の構築からITツール等の導入までの支援を実施	継続	61,600		支援期間は約2年間
		KYOTO海外展開チャレンジ支援事業	通年	初めての海外展開にチャレンジする、または海外展開の初期段階にある市内中小企業の取組を後押しするため、海外展示会への出展費用等の助成（上限160万円）や海外ビジネスに知見豊富なコーディネータによる伴走支援を実施予定	新規	28,000		
	企業誘致推進室	海外企業誘致の推進	通年	海外の誘致候補企業の調査・抽出、日本への進出を支援する企業、団体との関係構築を行うことにより海外企業誘致の推進を図る。	継続	45,000		
		関係機関等と連携した海外企業誘致の強化	通年	これまで構築してきた海外機関とのネットワークを活かしながら、京都進出に関心のある海外企業の情報収集や京都市の情報発信、現地イベントの開催・参加等、海外企業誘致の取組の更なる強化を図る。	新規	20,500		
	スタートアップ・産学連携推進室／地域企業振興室	中小企業海外展開支援事業	通年	①中小企業の海外展開支援事業 人口減少、高齢化に伴い、国内市場が縮小している中、中小企業の産業活動を維持、発展させるためには、積極的に海外の需要を取り込んでいくことが必要となっている。そのため、海外に豊富なネットワークを持つジェトロ京都及び京都市、京都府、京都商工会議所を中心にオール京都体制で設置した「京都海外ビジネスセンター」を軸に、積極的に成長している海外需要を取り込み、京都経済の活性化を図る。 ②貿易振興事業 貿易関連団体と貿易手続等の普及啓発を行うことで、貿易の振興を図る。	継続	11,700		
	スタートアップ・産学連携推進室／企業誘致推進室	「京都⇔海外」ビジネスマッチング促進プロジェクト	通年	MICE等により来日した海外企業等に対し、展示会でのブース出展等を通じて本市企業誘致に関する情報発信やネットワーク構築を図る。 また、スタートアップ・産業連携推進室と連携し、アウトバウンド・インバウンド一体となった取組に加え、MICEやユニークベニューの活用市内企業の海外展開に向けたPR、海外企業とのマッチング機会の創出及び海外企業の誘致を図る。	新規	29,700		予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開等に係るものではない。

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像1　世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
産業観光局	クリエイティブ産業振興室	伝統産業未来構築事業	通年	世界に誇る京都の伝統産業を未来に継承・発展させるため、他ジャンルとのコラボによる新商品開発や販路の開拓・拡大、後継者育成に係る事業に加えて、伝統産業製品の海外展開に資する新たな取組等を支援し、商品力及び販売力等の強化につなげていく。 また、本市が選定する、商品開発等に知見のある事業者の企画の下、伝統産業事業者が行う新商品開発及び販路開拓・拡大を支援する「新商品開発等支援プロジェクト」を実施し、伝統産業事業者の将来の事業発展に寄与するよう支援する。	充実	45,000		
		次世代クリエイター育成プロジェクト	通年	世界の「若手CGアニメクリエイター」が京都を通じて活躍する機会の創出に取り組む「京都国際クリエイターズアワード」に引き続き取り組むとともに、「クリエイター創作活動支援事業」、「若手クリエイター育成・集積事業」の実施も併せた「クリエイティブ活動活性化支援事業」を継続して実施している。 本事業を通じ、国内外の優秀なクリエイターのさらなる獲得・育成を行うことで、クリエイティブ活動がより活発になるための場を醸成するとともに、クリエイターの作品発表の場などアウトプットできる環境の提供に取り組む。	充実	14,400		
		京都ファン維持・拡大事業（京都館プロジェクト）	通年	京都館館長である小山薫堂氏の独創的なアイデアや豊富な人脈を最大限活かし、YouTubeチャンネル「京都館会議」等での情報発信の充実を図るとともに、リアルな取組として「京都館のれん分け事業者」や「京都市サポーターショップ」等、首都圏にある京都ゆかりの民間事業者との連携により、多くの方に京都の奥深い魅力を知っていただけるような取組を展開する。	新規	20,000		
	観光MICE推進室	持続可能なインバウンド観光促進事業	通年	外国人観光客が増加するなか、高付加価値旅行商談会への出展や雑誌媒体等への広告を活用した情報発信等を行い、地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進する。	継続	20,000	2	
		京都観光オフィシャルサイトの運営	通年	京都観光オフィシャルサイトを運営し、国内外の観光客に向けて、魅力的なコンテンツはもとより、京都観光モラル、入洛前からのマナー啓発、観光客の分散化、災害・防災行動情報など、京都観光に資する情報の発信を行う。	継続	93,200	2	
		メディア等を通じた国内外向け情報発信等	通年	海外情報発信・収集拠点（全6箇所）（台北、シドニー、パリ、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク）を設置して海外市場に合わせたきめ細やかなプロモーションを実施するほか、映画・ドラマの撮影支援等の国内外のメディア支援を行うことにより、世界における京都のメディア露出の増加に努める。	継続	42,316	2	
		京都文化交流コンベンションビューロー補助金	通年	MICE京都ブランドの一層の磨き上げや競争力強化を図るため、積極的な誘致活動や、誘致・開催を支援する助成金・補助金制度の活用等を通じて、MICEの振興に繋げる。	継続	136,699	2	
		京都市認定ガイド制度の運営	通年	外国人観光客へのサービスの向上と通訳ガイドの活躍の場を充実させるため、これまでに育成したガイドに対して、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施する。また、外国人観光客が増加する中、ガイドの人数を一定確保するために、新規募集（第9期生）を行う。	継続	24,950	2	
		京都総合観光案内所の運営	通年	京都の玄関口である京都駅構内（京都駅ビル2階）において、「京都総合観光案内所（京なび）」を府市協調により設置し、府内全域の観光・交通案内を多言語（日、英、中、韓の常時対応のほか、スタッフにより、フランス語、スペイン語、ドイツ語、タイ語も対応可能）で実施。	継続	61,839		
		観光案内DX事業	通年	パソコンやスマートフォン等で利用可能な「京なびオンライン」サービス（対応言語：日、英、中（簡体、繁体）、韓）において、チャットボットによる質問対応や利用者のニーズに応じた観光プランの提案等による観光案内のほか、「よくある質問」サイト、「観光パンフレット・地図ダウンロード」サイト、「観光快適度マップ」、災害等の緊急情報の発信等を行っている。 また、京都総合観光案内所（京なび）施設内や鉄道駅等にタブレット端末を設置し、同様のサービスを提供する。	継続	2,100		
		多様なエリアにおける魅力発信事業	通年	令和7年度に踏まえ、WEB広告や主要駅での広告媒体の活用、インフルエンサーを活用したSNS発信など様々な手法を組み合わせたプロモーションを展開することで、エリアごとのブランディングを行い、訪問率の向上につなげていく。	継続	44,500		総事業費（41,700千円）の内の一部
		市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業	通年	市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けては、観光課題対策等の本市が政策として伝えたい情報をより一層効果的に発信する必要があるため、令和6年度に新たに設置した中国（上海）拠点を含め、7つの海外情報発信・収集拠点や海外有力メディア、海外インフルエンサーを通して、効果的な情報発信を行い、海外向け観光プロモーションの強化に取り組む。	継続	42,800	2	
		市民生活と調和・両立した持続可能なインバウンド観光促進事業	通年	海外情報発信・収集拠点の新設や海外メディア等を活用した情報発信の強化等を図ることで、市民生活と調和・両立した持続可能な観光を推進する。	新規	64,100	2	
		京都の強みを活かしたMICE誘致の更なる強化	通年	首都圏セールス拠点の設置やMICE開催支援に係る助成金・補助金制度の充実等により誘致活動の強化を図るとともに、MICE関連事業者の人材育成支援等により受入環境の整備を図る。	新規	183,600	2	
		MICEを起点とした多彩な交流の創出	通年	MICEの効果の最大化を図るため、市民公開講座の開催や学生の参画機会の確保等に対する支援の充実や、地元企業とのビジネスマッチングの機会の創出、さらには、地域貢献の先進事例の創出等に取り組む。	新規	54,100	2,3	
		「京都ファン」の観光客に対する京都の魅力調査	令和8年4月～令和9年2月	京都に旅行経験のある日本人・外国人それぞれを対象としたアンケート調査及び「京都ファン」を対象とした深層インタビュー調査を実施することで、「京都ファン」の属性毎の意識を調査する。 これらの調査結果等を踏まえ、観光客のリピーター化や、長期滞在化の促進、京都の魅力の維持・継承等を図る各種事業の磨き上げを行う。 併せて、当該調査結果を観光関連事業者と共有することで、多様で奥深い観光体験の創出・磨き上げを促進する。	新規	34,000		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像１　世界を魅了し、多種多様な人々が集まるまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
保健福祉局	福祉のまちづくり推進室	ケアラーに対する包括的な支援体制の構築	令和8年夏頃	外国語にルーツのある方をケアする方も含め、多様なケアラーの相談を包括的に受け止め、必要な情報の提供や支援につないでいくため、ケアラーに関する相談窓口を設置する。また、当該窓口においては、当事者や支援者が作る居場所やピアサポートにケアラーをつなぐことや、ケアラー（元ケアラー）の活躍の場を見出すための情報提供、ケアラー支援に関する情報収集や調査・研究につなげる等の取組も実施し、ケアラー支援の一層の充実を図る。 その他、ケアラー支援に係るポスターやリーフレットの掲出、動画の放映等により、周知啓発を実施するとともに、関係団体とも連携し、市民や関係機関等を対象とした研修を実施する。	新規	28,400	3,4	
都市計画局	まち再生・創造推進室	海外の行政機関・教育機関からの視察受入、情報発信	通年	景観・まちづくりセンターにおいて、国内外の行政機関、教育機関等からの視察を受入れ、京都の景観・まちづくりや京町家の保全・継承に関する情報発信を実施。ホームページや「京のまちかど」パネルの英語表記の整備。	継続	－		
上下水道局	水道部施設課	施設見学の受入れ	通年	外国人研修生等の受入については、要望内容に応じて検討を加え受入れを行っていく。	継続	－		
	下水道部施設課	施設見学の受入れ	通年	外国人研修生等の受入については、要望内容に応じて検討を加え受入れを行っていく。	継続	－		
教育委員会	生涯学習部 生涯学習推進担当	京都市内博物館ガイドブック「京都ミュージアム探訪」（日本語版及び英語版）の改訂版発行及びweb配信	令和8年４月～	「京都ミュージアム探訪」のWEBサイトを「京都市内博物館施設連絡協議会（以下、「京博連」という。）のホームページ」の中の一つのコンテンツとして組みこむかたちで再構築した新たなWEBサイト「京都市ミュージアム検索サイト」の配信を開始する。充実した検索機能により、200を超える施設情報の中からユーザーが必要としている情報を分かりやすく届けるほか、京都市教育委員会と京博連が共催する市民向けイベントの情報発信等を行う。	継続	566		
	生涯学習部 施設運営担当	多言語化パンフレット・リーフレット・音声ガイド	パンフレット：通年 リーフレット：令和3年度～ 音声ガイド：令和3年度～	京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）にある古典の日記念　京都市平安京創生館において、来館者向けに作成した常設する平安京復元模型等の解説を掲載した英語・中国語・韓国語の案内パンフレットと、学校教育にも活用できるリーフレットを置き、リーフレットは学校にも配布する予定。また引き続き常設展示の解説英語版案内板を設置するとともに、平安京復元模型の音声ガイドを運用する予定。	継続	－	4	
	学校歴史博物館	多言語化音声ガイド・解説ガイド	通年	引き続き8年度も「英語・韓国語・中国語・日本語の音声ガイド」と「英語・韓国語・中国語の解説ガイド」を外国人観覧客等に使用予定。	継続	－		
	青少年科学センター	多言語通訳サービス	通年	入館時の改札業務において、外国人来館者に対し、翻訳機による英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語等48ヶ国語対応の通訳サービスやタブレット端末による通訳アプリを使用した対応を実施する。（令和元年7月～） 展示場・プラネタリウムにおいて、聴覚障害者や外国人来館者に対し音声認識での字幕・翻訳アプリを使用したサービスを継続する。（令和7年6月～） 展示場・プラネタリウムにおいてタブレット端末を増やし、より多くの方への字幕や多言語対応を行う。（令和8年5月～）	継続	607		
		展示品名の多言語表記	通年	新しい展示品を導入する際には、日本語に加え、英語・中国語・韓国語で展示品名を表示する。	継続	－		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像２　海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
総合企画局	国際都市共創推進室 国際都市共創担当	キーウ市・ウクライナ避難者支援	通年	キーウ市民が軍事侵攻前の平和な生活を取り戻すには、戦闘状態の完全な終結とともに息の長い支援が必要と考えられることから、本市としては、引き続きキーウ市支援のための寄付金を受け付けるとともに、今後も、その時々に応じた必要な支援を検討していく。 本市の避難者に対しても、引き続き、国や関係団体、支援いただける方々と連携し、一人ひとりに寄り添った支援を行うとともに、自立に向けて、日本語学習や就労等の支援を継続していく。	継続	550		
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	令和8年度8月及び2～3月（予定）（毎年度2回程度）	「京都市国際都市ビジョン」（令和3年3月策定）に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。	継続	260	1,3,4	再掲
		京都・パリ友情盟約締結70周年プレイベント2026	通年	京都・パリ友情盟約締結70周年（2028年）に向けたプレイベントを、在京都フランス総領事館、関西日仏学館と連携し、実施する。	新規	1,950	1，3	再掲
		世界歴史都市連盟事業	通年	令和8年11月10～12日に、姫路市において、第20回世界歴史都市会議及び2026年度世界歴史都市連盟総会・理事会を開催する。また、会議プログラムの一環として、姫路市、奈良市、京都市からの選択制でエクスカーションを実施する。開催都市の姫路市、エクスカーション先の1つである奈良市及び連盟事務局とで開催に向けた準備を行うとともに、京都市から京都市長をはじめとする代表団を派遣する。 会議では、「持続可能で強靭な未来に向けた文化遺産の保存と活用」をテーマに、基調講演や会員都市による発表、市長セッション、専門家会議等を行い、総会・理事会では、連盟の運営や事業について協議等を行う。 また、連盟事務局では、機関紙の発行や公式ウェブサイトによる情報発信等を行う。	継続	8,233	1	再掲
		京都・プラハ姉妹都市提携30周年記念事業	通年	京都・プラハ姉妹都市提携30周年を記念して、両市の代表団の相互派遣を行うとともに、京都市内及びプラハ市内で相互の都市の文化、学術などの交流に資する事業を実施する。	新規	18,665	1,3	再掲
		姉妹都市とのマラソンを通じた交流	マラソン開催時	姉妹都市交流の促進につなげることを目的とし、本市の姉妹都市であるケルン市からの申し出を受けて、ケルンマラソンの姉妹都市ランナー枠（エントリーフィー無料）として、参加いただける市民の方を募集している。	継続	－		
		京都世界水大賞	通年	発展途上国の将来に資する水問題解決に向け、精力的な草の根活動に取り組む優秀な団体を顕彰し、広く世界に発信することで草の根活動の重要性を訴えていくことを目指す。 令和9年3月の第11回世界水フォーラム（サウジアラビア）で授賞式を開催予定。	継続	－		
	人口戦略室 京都創生担当	海外に向けた「京都創生」の展開	通年	令和7年度の取組みを継続しつつ、情報発信等の取組を通じ、関係人口となる方々とより深く継続的な関係性を構築していく。	継続	1,882	1	再掲
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	創造都市ネットワーク日本 国際ネットワーク部会において、東アジア文化都市の認知度向上に向けて取り組むとともに、今後の国際ネットワーク強化の在り方について検討を進める。また、令和8年度は、ユネスコ創造都市ネットワークと合同会議を開催し、都市間の情報交換を行う予定。	継続	－	1,3	再掲
		京都国際舞台芸術祭 （KYOTO EXPERIMENT）	令和8年10月	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT（エクスペリメント）=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。	継続	28,000	1,3,4	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	継続	162,907	1,3,4	・再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		KYOTOGRAPHIE（京都国際写真祭）	令和8年4月18日～5月17日	京都を舞台とした国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE（京都国際写真祭）」を本市共催により開催（主催：一般社団法人KYOTOGRAPHIE）。京都の歴史的建築物などを会場（市内十数か所）とし、選りすぐりの国内外写真家による展覧会等を実施する。	継続	－	1	再掲
	美術館	各種展覧会の開催	展覧会により異なる	テート美術館 ― YBA & BEYOND 世界を変えた90s英国アート（令和8年6月3日～9月6日）	継続	－		共催展であるため本市からの出資はなし。
	市民スポーツ振興室	京都マラソン2027	令和9年 2月21日	国外から広くランナーを募集するとともに、多言語サイトの作成、語学ボランティアの配置、多言語で案内サインを設置し、おこしやす広場をはじめ、大会を通じて京都の文化の発信に取り組む。	継続	162,000		
		「ワールドマスターズゲームズ2027関西」大会PR及び開催準備並びに受入環境整備事業	通年	大会開催の1年前であり、直前期でもある2026年度（令和8年度）は、節目イベント開催やSNSでの情報発信等により、更なる大会認知度の向上を図るとともに、開会式や4競技（陸上競技、バドミントン、空手道、スカッシュ）をはじめ、マスターズビレッジや医療救護、警備等のマニュアル作成等、大会運営の準備に加え、会場となる西京極総合運動公園のトイレリニューアル等の受入環境向上に取り組む。	充実	172,200		予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るものではない。

資料１－別紙２

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像2　海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
産業観光局	スタートアップ・産学連携推進室	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	通年	引き続き、オール京都及び京阪神間での連携を強化し、京都におけるスタートアップの発掘・育成・支援や国内外への発信に、より一層取り組むことで、社会課題解決に取り組むスタートアップの創出及び集積を促進し、都市の活力が創造され、市民生活の豊かさがもたらされる「スタートアップの都・京都」を目指す。	継続	279,300	1	・再掲 予算額は、プロジェクト全体の予算額であり、全てが海外展開・情報発信等に係るものではない。
	観光MICE推進室	持続可能なインバウンド観光促進事業	通年	外国人観光客が増加するなか、高付加価値旅行商談会への出展や雑誌媒体等への広告を活用した情報発信等を行い、地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進する。	継続	20,000	1	再掲
		京都観光オフィシャルサイトの運営	通年	京都観光オフィシャルサイトを運営し、国内外の観光客に向けて、魅力的なコンテンツはもとより、京都観光モラル、入洛前からのマナー啓発、観光客の分散化、災害・防災行動情報など、京都観光に資する情報の発信を行う。	継続	93,200	1	再掲
		メディア等を通じた国内外向け情報発信等	通年	海外情報発信・収集拠点（全6箇所）（台北、シドニー、パリ、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク）を設置して海外市場に合わせたきめ細やかなプロモーションを実施するほか、映画・ドラマの撮影支援等の国内外のメディア支援を行うことにより、世界における京都のメディア露出の増加に努める。	継続	42,316	1	再掲
		京都文化交流コンベンションビューロー補助金	通年	MICE京都ブランドの一層の磨き上げや競争力強化を図るため、積極的な誘致活動や、誘致・開催を支援する助成金・補助金制度の活用等を通じて、MICEの振興に繋げる。	継続	136,699	1	再掲
		京都市認定ガイド制度の運営	通年	外国人観光客へのサービスの向上と通訳ガイドの活躍の場を充実させるため、これまでに育成したガイドに対して、必要な知識や技術を学ぶ研修を実施する。また、外国人観光客が増加する中、ガイドの人数を一定確保するために、新規募集（第9期生）を行う。	継続	24,950	1	再掲
		市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業	通年	市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けては、観光課題対策等の本市が政策として伝えたい情報をより一層効果的に発信する必要があるため、令和6年度に新たに設置した中国（上海）拠点を含め、7つの海外情報発信・収集拠点や海外有力メディア、海外インフルエンサーを通して、効果的な情報発信を行い、海外向け観光プロモーションの強化に取り組む。	継続	42,800	1	再掲
		市民生活と調和・両立した持続可能なインバウンド観光促進事業	通年	海外情報発信・収集拠点の新設や海外メディア等を活用した情報発信の強化等を図ることで、市民生活と調和・両立した持続可能な観光を推進する。	新規	64,100	1	再掲
		京都の強みを活かしたMICE誘致の更なる強化	通年	首都圏セールス拠点の設置やMICE開催支援に係る助成金・補助金制度の充実等により誘致活動の強化を図るとともに、MICE関連事業者の人材育成支援等により受入環境の整備を図る。	新規	183,600	1	再掲
		MICEを起点とした多彩な交流の創出	通年	MICEの効果の最大化を図るため、市民公開講座の開催や学生の参画機会の確保等に対する支援の充実や、地元企業とのビジネスマッチングの機会の創出、さらには、地域貢献の先進事例の創出等に取り組む。	新規	54,100	1,3	再掲
環境政策局	地球温暖化対策室	イクレイ等のネットワーク組織と連携した国際発信	通年	持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組む国際的な自治体ネットワーク組織「イクレイ−持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会」に加盟し、国内外の自治体との連携を図っている。（※京都市長がイクレイ東アジア地域理事会の議長を務めるとともに、イクレイ日本に本市職員を1名派遣） 地球規模での温暖化対策を促進するため、イクレイのプラットフォームを活用しながら本市の取組を広く発信する。	継続	3,459		
		「アゼルバイジャン・シェキ市」への環境教育コンテンツの提供	通年	アゼルバイジャン・シェキ市から小学生を対象とした環境教育分野での連携に関心が寄せられており、当室が所管する「エコチャレンジ」「環境副読本」など環境教育に関するノウハウの共有に向けて、検討を進めている。	新規	−		
		欧州連合「 IURC（国際都市・地域間協力）2プロジェクト」に係る連携	令和7年度～9年度	欧州連合が主催する都市間連携プロジェクト「IURC2」において、欧州やオセアニア地域の都市間において、若者による気候レジリエンスをテーマとした事業実施に向けて、検討を進めている。	新規	−		
		「JICA草の根技術協力事業」を通じたベトナム・フエ市へのごみ減量と分別の仕組み構築支援	令和8年度～	JICAにおいて、ベトナム・フエ市での「コミュニティベースのごみ減量と分別の仕組み構築支援事業」が採択されたため、事業開始に向けて手続きを進めている。	新規	−		
都市計画局	まち再生・創造推進室	ワールド・モニュメント財団との連携による京町家再生プロジェクトの実施	通年	景観・まちづくりセンターにおいて、ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。 京町家再生プロジェクトとしてワールド・モニュメント財団から支援を受けた釜座町町家、旧村西家住宅、四条町大船鉾会所の活用に引き続き協力を行うとともに、WMFとの交流や情報共有を継続する。	継続	150		
教育委員会	学校指導課 （初等中学校教育担当）	姉妹都市との交流	令和8年9月30日～10月4日	○姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもたちの作品約2,600点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。	継続	883	3	

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像３　さまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
総合企画局	国際都市共創推進室 国際都市共創担当	京都・プラハ姉妹都市提携30周年記念事業	通年	京都・プラハ姉妹都市提携30周年を記念して、両市の代表団の相互派遣を行うとともに、京都市内及びプラハ市内で相互の都市の文化、学術などの交流に資する事業を実施する。	新規	18,665	1,2	再掲
		京都・パリ友情盟約締結70周年プレイベント2026	通年	京都・パリ友情盟約締結70周年（2028年）に向けたプレイベントを、在京都フランス総領事館、関西日仏学館と連携し、実施する。	新規	1,950	1，2	再掲
		京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	令和8年度8月及び2～3月（予定）（毎年度2回程度）	「京都市国際都市ビジョン」（令和3年3月策定）に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。	継続	260	1,2,4	再掲
		国際交流会館管理運営（指定管理）	通年	京都の国際交流・多文化共生の拠点として、国際交流団体等との連携事業や、外国籍市民等からの相談に多言語で応じる「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営などを行うことにより、市民が多様な価値観に触れる機会を創出するとともに、外国籍市民等が安心して生活できる環境づくりを進める。 また、京都・プラハ姉妹都市提携30周年に関連し、チェコ共和国の絵本及び関連書籍を展示した企画展や絵本の読み聞かせ、ワークショップなどを開催する。	継続	186,827	4	【指定管理者】 公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】 平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。
		世界から選ばれるまちに向けた調査及び相互理解・相互尊重の促進	通年	世界中から突き抜けた人材が集まるまちを目指し、クリエイティブ人材などの専門人材の受入れ等に関する調査・分析を行うとともに、多文化共生社会における相互理解・相互尊重の意識醸成に向けて、海外からの転入時に必要な情報の提供や、市民団体との連携等による外国籍市民との交流機会の拡大を図る。	新規	18,000	1,4	再掲
行財政局	人事部人事課	庁内グローバル人材育成	通年	「突き抜ける世界都市京都」の実現に向けては、世界との交流や企業の海外展開などグローバルな視点で京都ならではの価値創出を進める施策を進めることが重要である。 このため、職員の多文化理解・語学力・発信力等の向上に加え、現地に赴き国際的な感覚を養い、更には海外のステークホルダー等と交流・調整を行うことを通じて専門的な職員の育成を図るとともに、職員の自律的なキャリア形成の支援に繋げていく。	新規	5,500		
文化市民局	文化芸術企画課	東アジア文化都市交流事業	通年	引き続き海外からの相談対応を行い、併せてウェブページの内容充実等を行う。 通訳派遣制度については、本格実施として派遣可能件数を拡充する。	継続	5,800	1,2	再掲
		京都国際舞台芸術祭 （KYOTO EXPERIMENT）	令和8年10月	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。	継続	28000	1,2,4	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	継続	162,907	1,2,4	・再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料。
		文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業	通年	引き続き、文化芸術により社会課題や困難の緩和につなげ、共生社会（誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合える社会）を実現するための基盤をつくる。芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談に対応する「Social Work / Art Conference（SW/AC）」の実施や崇仁・東九条地域等における文化芸術活動の支援などにより、社会課題や困難の緩和につなげ、文化芸術による共生社会の実現に向けた基盤づくりに取り組む。 また、令和8年度もHAPS HOUSEにおける展覧会「Enjoy Exhibition Club」を継続的に開催するなど、引き続きHAPS HOUSEの拠点機能の充実を図る。	継続	18,050		
		国内外のクリエイティブ人材が京都につどい・交じり・創造する仕組みづくり（京都と世界が創造的に滞在・交流する仕組みづくり「*** in Residence Kyoto」）	通年	一般社団法人を設立し、レジデンス施設のスタートアップ支援を継続するとともに、海外との連携により、多くのクリエイティブ人材を受け入れる。また、コーディネーターの育成講座等の実施や区HUBとの連携により、地域とつなぐ機会の充実を図る。さらに、大学生と地域、クリエイティブ人材が協働し、市営住宅等の空き物件を活用した交流拠点を創出する。	充実	73,000	1,4	再掲
	共生社会推進室	人権啓発パネル展の開催	令和8年8月	8月の人権強調月間に合わせて、市民への発信を目的として、ゼスト御池において多文化共生をテーマにパネル展を開催する。	継続	467		
産業観光局	観光MICE推進室	MICEを起点とした多彩な交流の創出	通年	MICEの効果の最大化を図るため、市民公開講座の開催や学生の参画機会の確保等に対する支援の充実や、地元企業とのビジネスマッチングの機会の創出、さらには、地域貢献の先進事例の創出等に取り組む。	新規	54,100	1,2	再掲
保健福祉局	福祉のまちづくり推進室	ケアラーに対する包括的な支援体制の構築	令和8年夏頃	外国語にルーツのある方をケアする方も含め、多様なケアラーの相談を包括的に受け止め、必要な情報の提供や支援につないでいくため、ケアラーに関する相談窓口を設置する。また、当該窓口においては、当事者や支援者が作る居場所やピアサポートにケアラーをつなぐことや、ケアラー（元ケアラー）の活躍の場を見出すための情報提供、ケアラー支援に関する情報収集や調査・研究につなげる等の取組も実施し、ケアラー支援の一層の充実を図る。 その他、ケアラー支援に係るポスターやリーフレットの掲出、動画の放映等により、周知啓発を実施するとともに、関係団体とも連携し、市民や関係機関等を対象とした研修を実施する。	新規	28,400	1,4	
上京区	地域力推進室まちづくり推進担当	留学生や外国籍市民の地域事業への参加促進	令和8年10月25日	昨年と同様に、上京区民ふれあいまつり2026を同志社大学の総志寮（日本人と留学生が入居する寮）を会場の一つとして開催することにより、留学生等の外国籍市民も含めた幅広い世代が交流できる場を創出する。	継続	－		

資料１－別紙３

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像3　さまざまな世代で国際交流や多文化共生の意識が高まり、国際感覚をもった人が育つまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
右京区役所	地域力推進室　総務・防災担当	京都先端科学大学の留学生を対象とした防災イベント	調整中	「右京区役所、右京消防署と右京区ゆかりの各大学・短期大学の防災及び災害時支援に関する覚書」の連携事業の一環として、京都先端科学大学主催の防災イベントに協力しているもの。 同大学に入学する留学生にとって環境や文化が異なる日本での新生活にあたり、いざという時に困らない防火・防災の知識を身に付けてもらうことを目的とし、入学ガイダンスを兼ねて実施している。具体的な内容は、日本の風土や自然災害リスクに関する防災講演の受講、AED取扱い訓練、起震車体験、消火器訓練、避難所防災器材の取り扱い等。なお、体験や訓練は同大学の日本人学生が英語で説明する等、ボランティアスタッフとして参加し、リーダーシップ育成と学生交流の機会にも期待して実施している。（令和5年度から実施しており、令和8年度も実施予定。）	継続	－		
人事委員会事務局	－	京都市職員採用試験（青年海外協力隊等活動経験者）	3月、6月、9月、11月	引き続き経験者試験に統合し実施する。（経験要件に、海外協力隊等における活動経験（2年以上）を含むこととする）	継続	－		
上下水道局	経営戦略室	JICA課題別研修「上水道施設技術総合」の受入れ	令和8年7月27日予定	JICA 課題別研修「上水道施設技術総合：水道実務者向け実践編（B）を、JICA北海道（札幌市水道局）主催により実施予定。 HIECCの依頼に応じて、講義や視察等の受入れを行う。 （研修場所：豈上浄水場）	継続	－		
		JICA課題別研修「都市上水道維持管理」の受入れ	令和8年 6月24日～7月17日予定	JICA課題別研修「都市上水道維持管理（浄水・水質A）」、「都市上水道維持管理（給・配水）（A）」を、大阪市水道局、神戸市水道局、阪神水道企業団との共同により、約1か月間実施する。また、プログラムの一環として、浄水場施設の視察等を受け入れる予定。	継続	－		
教育委員会	学校指導課 （初等中学校教育担当、高校担当）	英語教育・国際交流の推進	通年	子どもたちが実践的な英語力を身につけることができるよう、小学校で日常的に英語に触れるための取組、英語学習アプリの活用、中高校生の英検受検料補助、高校での修学旅行等や海外姉妹校との相互交流、GTECの活用に取り組んでいる。また、中学校から高等学校への学びが円滑につながる英語教育の充実を図るため、今年度から「中高連携英語推進事業」を実施し、指導内容や評価の連続性を意識した取組を進めている。 さらに、「京都市立高校グローバルリーダー育成研修」を実施し、海外を舞台に多様な文化や価値観に触れる経験を通して、グローバル人材としての素地を育もんでいる。 高校生等の留学機会提供を目指す国の「トビタテ！留学JAPAN」拠点形成支援事業に京都府が採択されたことを契機に、京都への愛着と誇りを持ち、グローバルな視野や探究心、課題解決能力を備えた人材育成を目的として、京の高校生『海外探Q留学』応援事業」を開始する。	充実	52,935		
	学校指導課 （初等中学校教育担当）	外国語指導助手（ALT）の活用促進と教員の実践的英語力の養成	通年	ALT（外国語指導助手）の計画的な配置や増員、教職員研修の充実等により、授業改善や指導力の向上を図る。	充実	事務局費 19,268 人件費 405,160		
		姉妹都市との交流	令和8年9月30日～10月4日	○姉妹都市交歓作品展 ・市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の作品及び姉妹都市の子どもたちの作品約2,600点を一堂に展示する「京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催。 ・作品展終了後、本市の出品作品のうち約200点を姉妹都市に交歓作品として贈呈。	継続	883	2	再掲
	体育健康教育室	学校給食での諸外国の食文化の体験	通年	学校給食において諸外国の料理や様々な調理方法による献立を提供することで、食に対する理解を深めていく取組を実施する。	継続	－		
	生涯学習部 施設運営担当	京都市図書館での英語多読図書等の貸出、外国語絵本の読み聞かせ等	通年	京都市図書館では、英語をはじめとした諸外国言語の資料を所蔵し、貸出を行っている。各図書館では外国語の絵本の読み聞かせを中心とした行事を開催する予定。	継続	－		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像４　多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
総合企画局	国際都市共創推進室 国際都市共創担当	京都市国際交流・多文化共生審議会の開催	令和8年度8月及び2～3月（予定）（毎年度2回程度）	「京都市国際都市ビジョン」（令和3年3月策定）に掲げる本市が目指す国際都市像の実現に向け、国際交流や国際協力、多文化共生等の本市が進める国際的な事業の展開について、有識者や市民公募委員から意見をいただき、本市の国際交流・共生推進に関する施策に反映していく。	継続	260	1,2,3	再掲
		医療通訳派遣事業	通年	医療機関に対して通訳者を派遣することにより、外国籍市民等が安心して医療サービスを受け、安全に暮らすことができるよう、言葉を中心としたサポートを行う。	継続	2,700	1	再掲
		地域・多文化交流ネットワーク促進事業	通年	東九条地域において、これまでの自主的な地域活動や多文化共生に向けた取組の実績を踏まえ、地域住民及び各種団体を主体とした地域交流・多文化交流を深める取組等を実施することにより、京都市域における多文化共生・地域福祉の推進を図る。	継続	9,900	1	再掲
		京都市外国籍市民総合相談窓口運営	通年	在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、多言語による情報提供及び相談を行う。	継続	8,365	1	再掲
		災害時多言語電話通訳事業	通年	災害発生時、避難所の運営主体等が、日本語を話せない外国籍市民等が来られた際に対応できるよう、多言語対応した専用の電話回線により通訳可能な体制を整えている。（避難所等の開設期間中、24時間利用可能）	継続	460	1	再掲
		国際交流会館管理運営（指定管理）	通年	京都の国際交流・多文化共生の拠点として、国際交流団体等との連携事業や、外国籍市民等からの相談に多言語で応じる「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営などを行うことにより、市民が多様な価値観に触れる機会を創出するとともに、外国籍市民等が安心して生活できる環境づくりを進める。 また、京都・プラハ姉妹都市提携30周年に関連し、チェコ共和国の絵本及び関連書籍を展示した企画展や絵本の読み聞かせ、ワークショップなどを開催する。	継続	186,827	3	・再掲 【指定管理者】 公益財団法人京都市国際交流協会 【指定管理期間】 平成18年度～上記団体を指定管理者に選定。
		京都市におけるkokoka日本語教育推進事業	通年	京都市国際交流会館の指定管理者である、京都市国際交流協会が文部科学省の補助金を受け、オンライン学習や日本語学習支援者をはじめとする担い手育成などを実施しており、本市も協会や関係機関と連携し、京都市域における日本語教育を推進する。	継続	－		令和6年度より所管が文化庁から文部科学省に移管
		海外からの相談対応等受入環境整備の充実事業	通年	引き続き海外からの相談対応を行い、併せてウェブページの内容充実等を行う。 通訳派遣制度については、本格実施として派遣可能件数を拡充する。	継続	5,800	1	再掲
		世界から選ばれるまちに向けた調査及び相互理解・相互尊重の促進	通年	世界中から突き抜けた人材が集まるまちを目指し、クリエイティブ人材などの専門人材の受入れ等に関する調査・分析を行うとともに、多文化共生社会における相互理解・相互尊重の意識醸成に向けて、海外からの転入時に必要な情報の提供や、市民団体との連携等による外国籍市民との交流機会の拡大を図る。	新規	18,000	1,3	再掲
行財政局	防災危機管理室	京都市防災ポータルサイト多言語発信	通年	京都市防災ポータルサイトを多言語での自動翻訳機能で運用していく予定。	継続	5,914		システム全体の保守費用（多言語部分のみ算出できない）

資料１－別紙４

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像４　多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
文化市民局	地域自治推進室	テレビ電話型翻訳タブレットを活用した区役所・支所における窓口サービスの充実	通年	本市で暮らす外国籍市民の方が、転入・転出、医療、子育て等に係る各種手続きや市民生活相談で、区役所・支所を訪れた際に、窓口で多言語での対応ができるよう、各区役所・支所のタブレット端末に、テレビ電話型翻訳サービスを導入する。 ※対応言語：16言語（英語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、インドネシア語、スペイン語、ヒンディー語、タイ語、フランス語、ロシア語、中国語、クメール語、ミャンマー語、ウクライナ語、マレー語	継続	1,000		
		字幕表示システムの導入	通年	高齢者、聴覚障害のある方及び外国籍の方等とのコミュニケーションの円滑化に向け、話した言葉がスクリーンに表示される字幕表示システム「Cotopat（コトパット）」を、全区役所・支所で活用。 双方向の翻訳表示が可能で、日本語⇒外国語は１３４言語、外国語⇒日本語は７３言語に対応。	継続	5,420		
		区役所庁舎案内表示のデジタル化	通年	「区役所に来たけど、どこの窓口で手続をしたらいいか分からない」といった際、簡単な操作でスムーズに目的の窓口へ御案内するシステムを全区役所・支所で活用。日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語の表示が可能。	継続	4,500		
	美術館	展示の多言語表記	通年	当館の常設展であるコレクションルームでの展示作品について、英語表記でのキャプションや作品リスト（データのみ）を作成。	継続	6,160		
		多言語版音声ガイド	通年	コレクションルーム出品作品について、英語・中国語・韓国語での解説音声ガイドを作成し、運用。	継続	3,300		
		多言語版パンフレット	通年	館内案内パンフレットを英語・中国語・韓国語表記で作成・配架。	継続	ー		リニューアル当初に作成したものを配架しているため、R7年度予算額は0。
	元離宮二条城	多言語対応音声ガイド機	通年	世界遺産・二条城をより理解していただくため、英語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・ドイツ語で解説音声ガイドを年間保守契約で運用。	継続	1,540		
		多言語版パンフレット	通年	城内案内パンフレット及び本丸御殿用パンフレットを英語語・フランス語・スペイン語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・ドイツ語表記で作成・配架。	継続	11,600		
	文化芸術企画課	京都国際舞台芸術祭 （KYOTO EXPERIMENT）	令和8年10月	京都・日本そして世界の舞台芸術を紹介することを目的に、平成22年度から京都市内で開催している舞台芸術祭。 世界各地の「EXPERIMENT（エクスペリメント）=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指している。 次年度も世界各国からアーティストを招聘する。	継続	28,000	1,2,3	再掲
		京都芸術センター事業	通年	京都芸術センターは、京都における文化芸術の総合的な振興を目的として設置され、国内外の文化施設や文化芸術団体と連携した事業の実施や、外国の文化機関とのネットワーク強化に取り組む。また、多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、国際文化交流・人的交流のハブとして、国内外のアーティストの滞在制作支援事業などを実施する。	継続	162,907	1,2,3	・再掲 予算の額は、京都芸術センターの運営に係る指定管理料
		国内外のクリエイティブ人材が京都につどい・交じり・創造する仕組みづくり（京都と世界が創造的に滞在・交流する仕組みづくり「*** in Residence Kyoto」）	通年	一般社団法人を設立し、レジデンス施設のスタートアップ支援を継続するとともに、海外との連携により、多くのクリエイティブ人材を受け入れる。また、コーディネーターの育成講座等の実施や区HUBとの連携により、地域とつなぐ機会の充実を図る。さらに、大学生と地域、クリエイティブ人材が協働し、市営住宅等の空き物件を活用した交流拠点を創出する。	充実	73,000	1,3	再掲
産業観光局	産業企画室	留学生市内就職促進事業	通年	多くの留学生が学ぶ、大学のまち・京都の強みを活かし、留学生を地域企業の担い手へとつなげるため、留学生採用の知識・理解促進に資する企業向けセミナーや企業と留学生の交流会等を実施する。 さらに、就職活動やビジネスに役立つ日本語等を学ぶ講座を実施することにより、留学生の地域企業への就職を後押しする。	継続	9,000		
環境政策局	資源循環推進課	外国籍市民に対する正しいごみの分別方法の周知啓発	通年	外国籍市民に対して、正しいごみの分別方法を周知するため、リーフレットを多言語で作成し、各区役所・支所のエコまちステーション、まち美化事務所等で配布している。 【リーフレット等】 ・正しい資源物とごみの分け方・出し方（英・中・韓） ・特に注意が必要なごみの分け方・出し方（英・中・韓） ・マンション向けリーフレット「ごみの分け方・出し方」（英・中・韓・ベトナム語）	継続	-		
		ごみ分別案内アプリ「さんあ～る」の多言語化対応	通年	ごみの出し方や収集日、分別方法などをスマートフォンやタブレットから簡単に確認することができる無料アプリ「さんあ～る」について、一部、多言語化（英・中・韓）を実施済みであり、未対応の部分についても令和8年度中に多言語化を予定している。	継続	-		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像４　多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
保健福祉局	福祉のまちづくり推進室	ケアラーに対する包括的な支援体制の構築	令和8年夏頃	外国語にルーツのある方をケアする方も含め、多様なケアラーの相談を包括的に受け止め、必要な情報の提供や支援につないでいくため、ケアラーに関する相談窓口を設置する。また、当該窓口においては、当事者や支援者が作る居場所やピアサポートにケアラーをつなぐことや、ケアラー（元ケアラー）の活躍の場を見出すための情報提供、ケアラー支援に関する情報収集や調査・研究につなげる等の取組も実施し、ケアラー支援の一層の充実を図る。 その他、ケアラー支援に係るポスターやリーフレットの掲出、動画の放映等により、周知啓発を実施するとともに、関係団体とも連携し、市民や関係機関等を対象とした研修を実施する。	新規	28,400	1,3	
	介護ケア推進課	高齢者外国籍市民福祉給付金	通年	昭和61年4月1日の基礎年金制度発足時に既に60歳に到達していたことにより、国民年金を受給していない在日外国籍市民（帰化した者を含む。）に対して、国が制度化を図るまでの過渡的な施策として、福祉給付金を支給する。	継続	884		
		高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成	通年	日常生活における不安や悩みの解消を図るため、外国籍市民等を対象とした訪問・支援活動等により、福祉サービスの利用支援等を行う京都外国人高齢者・障害者生活支援ネットワーク・モアに対して助成金を交付する。	継続	1,120		
		外国人介護人材受入支援事業	10月～3月（予定）	引き続き外国人介護人材が市内の介護現場において円滑に就労・定着できるよう、介護技能向上及び介護福祉士資格取得のための集合研修の実施に対する支援を行う。	充実	5,425		外国人介護人材以外の担い手確保に係る予算を含む。
子ども若者はぐくみ局	育成推進課	外国籍市民等を対象とした日本語教室の開講	通年	伏見青少年活動センターにおいて、青少年ボランティアによる日本語を母語としない人たちを対象とした「にほんご教室」を開講（平成14年度～）	継続	指定管理料の一部で実施		
		多文化共生事業「TABUNKA ひろば」の実施	通年	伏見青少年活動センターにおいて、海外ルーツの若者と日本の若者が、遊びやスポーツ、おしゃべりなどを通して交流する場を定期的に設ける（令和6年度～）	継続	指定管理料の一部で実施		
		外国人の若者のためのスポーツタイム	通年	伏見青少年活動センターにおいて、外国人の若者が自由にスポーツをできる場を提供する（令和7年度～）	継続	指定管理料の一部で実施		
消防局	警防部救急課	日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対する救急現場対応ツールの活用	通年	救急現場で使用頻度が高い会話内容を定型文登録している多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を活用。 外国人傷病者等からの問診及び情報収集をより円滑にするため、8か国語の多言語シート（英語、中国語[簡体字]、韓国・朝鮮語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、中国語[繁体字]）を活用。	継続	－		
	警防部情報指令課	多言語通訳体制の確保	通年	日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対し、119番通報時や災害現場活動時において5か国語通訳サービス（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語）を実施。	継続	1,694		
	予防部予防課	外国籍市民等に対する防災啓発の推進	通年	外国籍市民等の防火防災啓発のため、多言語リーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語）を作成し、各区役所、消防署、国際交流会館等を通じて外国籍市民等に配布。	継続	136		
	教育管理課	安心救急ステーション事業	通年	安心救急ステーション登録事業所に対して、外国語対応シート（日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の6か国語）を配布し、付近で外国人観光客等の救急事故が発生した際に当該シートを活用し、素早い通報や応急手当を推進。	継続	77		
交通局	企画総務部　企画調査課	多言語対応のスマートフォン・タブレット用HPの運用	通年	4か国語（日・英・中・韓）対応のスマートフォン・タブレット用HP「京都市バス・地下鉄ガイド」の運用	継続	511		
	企画総務部　営業推進課	「地下鉄・バスなび」の制作	通年	外国人観光客向けに、主な観光地へのアクセス早見表や地下鉄・市バスの乗り方などを掲載した市バス・地下鉄の路線図を3か国語（英語、中国語（簡体字）、韓国語）で制作	継続	9,207		
		多言語電話通訳サービス	通年	・外国人観光客との意思疎通をスムーズにし、的確に案内ができるよう、京都市観光協会・公益財団法人京都文化交流コンベンションヒーローが提供している電話による外国語通訳及び翻訳サービスを案内所・定期券発売所において活用	継続	－		
		コミュニケーションボード及びタブレット端末の配備	通年	・交通案内や忘れ物などの問合せに対し案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の「コミュニケーションボード」を案内所に配備 ・観光案内、周辺施設や運行状況の案内等、外国人観光客へのわかりやすいご案内ができるようタブレット端末を案内所及び一部定期券発売所に配備	継続	－		

（国際交流・多文化共生関連事業、海外展開等に係る事業の取組状況・取組予定）

国際都市像４　多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっているまち

局区	担当課	事業名	実施時期	概要	分類	R8年度予算額（千円）	その他関連する国際都市像	備考
交通局	自動車部運輸課	外国語等による情報提供の充実	通年	・次の停留所名を御案内する「次は（停留所名）表示」及び次の停留所に停車することを御案内する「つぎ止まります」の表示の４か国語（日・英・中・韓）対応を実施 ・観光特急バスにおける車内案内モニター及び車内案内放送の４か国語（日・英・中・韓）対応を実施	継続	－		
		災害時等における外国語等による情報提供	通年	災害時、緊急時等にバス車内で掲示する運行情報等の案内文を、４か国語（日・英・中・韓）で表記	継続	－		
		外国語のコミュニケーションボードの用意	通年	市バスの運賃や支払方法といった御利用方法などの基本的な案内文とイラストを記載した、日・英・中・韓対応の指差しによる「コミュニケーションボード」を作成し、市バス車両に配備	継続	213		
	高速鉄道部運輸課	外国語等による情報提供の充実	通年	・外国人旅客とより円滑にコミュニケーションを図るため、全駅に「自動翻訳付きタブレット」及び多言語対応小型通訳機を配備 ・JIS規格に対応したピクトグラムによる駅構内の案内表示を掲出するとともに、駅ナンバリング表示を導入し、外国人の方にも分かりやすい表示を実施	継続	2,174		
		災害時等における外国語等による情報提供	通年	・災害時等における運行情報を外国人旅客の方にも分かるよう、多言語（日・英・中・韓）での案内文を駅構内に掲示 ・車内に交通局ホームページへ誘導する二次元コードを貼付し、運行情報を提供	継続	－		
	高速鉄道部 高速車両課	外国語等による情報提供の充実	通年	地下鉄車両の案内表示装置による多言語の情報提供	継続	－		
	高速鉄道部　電気課	外国語等による情報提供の充実	通年	竹田駅改札口付近に4か国語（日・英・中・韓）表示が可能な列車案内表示器を設置。	継続	21,450		
上下水道局	総務部 お客さまサービス推進室	外国語のコミュニケーションボードの用意	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国から京都市内に転居されたお客さまの来所目的等を確認するために、外国語のコミュニケーションボード（英語、韓国語、中国語）を用意する。	継続	－		
		各種申込用紙に係る英語版記入例の用意	通年	各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまとの対応方法を充実するため、英語版の記入例を用意する。	継続	－		
		多言語電話通訳サービス	通年	お客さまサービスセンター・各営業所・お客さま窓口サービスコーナーにおいて、外国人のお客さまからの電話に対し、お客さま、職員、通訳者（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語等）の3者が同時に会話を行う。また、窓口に来庁されたお客さまには、電話機のスピーカー機能等を活用して通訳者を交えた応対を行う。	継続	396		
	水道部蹴上浄水場 水道部松ケ崎浄水場 水道部新山科浄水場	パンフレット等の外国語対応	通年	上下水道局が発行・印刷する外国語対応のパンフレット作製の実施 【パンフレット等】 ・京の水道　蹴上浄水場：英語 ・京の水道　松ケ崎浄水場：英語 ・京の水道　新山科浄水場：英語	継続	－		
	下水道部鳥羽水環境保全センター及び同吉祥院支所	パンフレット等の外国語対応	通年	上下水道局が発行・印刷するパンフレット等について、外国語対応を行っていく。 【パンフレット等】 ・鳥羽水環境保全センター概要：英語 ・鳥羽水環境保全センター吉祥院支所：英語	継続	－		
教育委員会	学校指導課 （多文化共生教育・社会連携担当）	留学生による母語支援活動	通年	市立小・中学校において、来日間もない帰国・外国人児童生徒等の母語支援活動に留学生の参加を進めることで、留学生を受け入れ、留学生の活躍の場を広げるとともに、当該児童生徒が安心して日本の学校生活に適応していけるような学習環境の充実を図る。	継続	12,685		
		多文化が息づくまちづくりに向けた日本語指導体制等の充実	通年	日本語の理解が十分でない外国にルーツをもつ児童生徒等の増加傾向をふまえ、受入時に迅速かつ的確に対応できる新たな体制として、日本語指導担当教員の派遣等の総合的な支援を行うサポート校を設置し、外国にルーツをもつ児童生徒の受け入れを進めている。その体制のもと、日本語初期集中指導教室「わかば」の設置や巡回指導を担当する教員、母語による学校生活の適応促進や通訳等の主に言語面の支援を行う母語支援員を配置、日本語指導ボランティアの派遣体制の強化、アーカイブ学習動画を制作してー層の充実を図る。	継続	3,000		
		教育や子育てに関する情報の多言語化の推進	通年	日本語を母語としない就学前の子どもの保護者に対し、小学校生活についての必要な情報等を確実に伝えるために、必要事項を多言語で記載したリーフレットを配布する。 また、令和2年度からは、日本語を母語としない保護者に対して、多言語による「小学校生活　親子オリエンテーション」を新たに実施し、日本の小学校生活や入学準備等について、小学校生活スタートガイドに加えて写真や実物を直接示す等、より効果的な手法で説明を行うと共に、家庭での母語保持の大切さについて伝える。	継続	150		
	生涯学習部 施設運営担当	多言語化パンフレット・リーフレット・音声ガイド	パンフレット：通年 リーフレット：令和3年度～ 音声ガイド：令和3年度～	京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）にある古典の日記念　京都市平安京創生館において、来館者向けに作成した常設する平安京復元模型等の解説を掲載した英語・中国語・韓国語の案内パンフレットと、学校教育にも活用できるリーフレットを置き、リーフレットは学校にも配布する予定。また引き続き常設展示の解説英語版案内板を設置するとともに、平安京復元模型の音声ガイドを運用する予定。	継続	－	1	
	青少年科学センター	プラネタリウムの解説の英語訳チラシの作成・配布	通年	日本語の理解が十分でない外国人来館者に対して、番組概要の理解の一助とするために、じっくり満喫プラネタリウムの番組概要について日英併記で解説したチラシを作成し、必要な方に配布することで、幅広い来館者のさらなる満足度向上を図る。	継続	－		